

東北大学工学部 建築・社会環境工学科 出前授業の申し込み

1枚目表(2枚中)

[申込者]			
ふりがな		申込年月日	平成____年____月____日(____曜日)
担当者氏名			
所属先名称 (学校名等)			
所属先住所			
連絡先 TEL		当日の連絡先 (携帯電話等)	
FAX			
E-mail			
[希望内容]			
日時/時期  ※該当箇所にチェックし、希望日時等を記載してください。	<input type="checkbox"/> 日時指定 平成____年____月____日(____曜日) ____時____分～____時____分(頃)  <input type="checkbox"/> 時期指定 平成____年____月____日(____曜日) ～ 平成____年____月____日(____曜日) の期間  <input type="checkbox"/> その他(自由記述) (_____ _____)		
場所	<input type="checkbox"/> 所属先の建物内 <input type="checkbox"/> その他(_____ _____)		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実演 <input type="checkbox"/> その他(_____ _____)		
講師希望  ※該当箇所にチェックし、講師の希望を記載してください。 (専門分野の選択は、複数選択も可)	<input type="checkbox"/> 講師(教員)を直接指名して希望したい。(教員氏名:_____ _____)  <input type="checkbox"/> 講師(教員)の専門分野を指定して希望したい。 ⇒※下記の中から希望の分野をチェックしてください。(コースの詳細は裏面参照) <u>複数希望する場合には、希望の順番を記入してください。</u> <土木系3コース> <input type="checkbox"/> [希望順位:    ]「社会基盤デザインコース」の専門分野 ～社会基盤を構成する構造物や材料の力学特性を研究～  <input type="checkbox"/> [希望順位:    ]「水環境デザインコース」の専門分野 ～環境技術、防災技術をグローバルに研究～  <input type="checkbox"/> [希望順位:    ]「都市システム計画コース」の専門分野 ～都市と地域をPlanning, Design, Managementする理論と技術～  <建築系2コース> <input type="checkbox"/> [希望順位:    ]「都市・建築デザインコース」の専門分野 ～「良い建築・良い都市とは何か」という命題に挑む～  <input type="checkbox"/> [希望順位:    ]「都市・建築学コース」の専門分野 ～都市・建築の安全性・生産性・デザイン性を追求～  <input type="checkbox"/> その他(自由記述) (_____ _____)  <input type="checkbox"/> 特に希望なし ⇒※特に希望がない場合は、 <u>学科内の土木系(土木工学専攻)と建築系(都市・建築学専攻)所属の先生どちらを希望するか、希望順位を記載してください。</u> [希望順位:    ]土木系3コース(土木工学専攻)所属の講師(教員)  [希望順位:    ]建築系2コース(都市・建築学専攻)所属の講師(教員)		

1枚目の裏面は、参考資料です。2枚目に続きます⇒

## 【参考】建築・社会環境工学科の専門コース（研究内容）

## &lt;土木系3コース&gt;

## 「社会基盤デザインコース」の専門分野

私たちの生活を支える公共施設を安全かつ経済的に建設するためには、それら構造物の強度に関する知識を基に、経済的かつ合理的な設計を目指す必要があります。構造物を構成する建設材料の特性や強度を把握し、構造部材の複雑な破壊メカニズムを解明するには、高度な数理的な手法が必要となります。さらに、構造物を支える岩盤や地盤の強度や安全性についても十分な検討を行うことが要求されます。そうした要請に応えるために、社会基盤デザインコースでは、社会基盤を構成する構造・材料・基礎の設計や施工に関連し、構造物や材料の力学特性を研究してい

## 「水環境デザインコース」の専門分野

水は私たちの生活に欠くことのできない資源。しかし同時に、洪水や津波として私たちの命を奪う恐ろしい姿にも変わります。また、川や海の水環境破壊は地球規模で深刻化しています。こうした様々な問題を解決するために水環境デザインコースでは、健全な水循環の創造、美しい海岸線の保全、安全な水の提供、汚れた水の再生等の環境技術や、都市や人間を災害から守る防災技術の開発など、世界的視野に立った幅広い研究を行っています。現地調査、リモートセンシング、水理実験、理論・数値解析、など様々な手法を駆使して、人、水、環境を観ています。

## 「都市システム計画コース」の専門分野

道路、鉄道、港湾などのインフラストラクチャーは、産業や生活の基盤となり、国土や都市、地域の骨格を形成します。人々の豊かで快適な暮らしを実現するためには、どのようなインフラストラクチャーが必要でしょうか？美しい国土・都市景観とは、どのようなものでしょうか？機能的な都市空間を実現するには、どのようにインフラストラクチャーを運用すればよいのでしょうか？都市システム計画コースの目標は、これらの疑問に対する答えを見つけ出すことです。私たちは、都市と地域を有機的に機能するシステムとして捉え、都市システムをPlanning, Design, Managementするた

## &lt;建築系2コース&gt;

## 「都市・建築デザインコース」の専門分野

建築物は人間の様々な活動を支えるシステムとして、まず、安全・快適なものでなければなりません。また、都市環境との調和や経済性、さらに高い芸術性を持つことも要求されます。都市・建築デザインコースでは、常に「良い建築・良い都市とは何か」という根源的な課題を問い直しつつ、関連する諸分野と協力して、都市・建築デザインの評価方法、デザインが人間に与える影響、新たな都市・建築デザインの方法の開発等に関する研究を行っています。

## 「都市・建築学コース」の専門分野

良い建築・都市を創造していくためには、その基礎となる様々な分野における知識の蓄積が不可欠です。これらの分野には、都市・建築の安全性・生産性を追求する建築構造学・建築材料学、快適性を追求する都市・建築環境工学、デザインの基礎となる建築計画学、都市計画学、建築史学などがあります。都市・建築学コースでは、それぞれの分野において、地震等の外部からの作用に対する建築物の挙動、熱・光・音等の空間の環境、人間活動と空間特性との関連、都市・建築の歴史的形成過

※さらなる詳細は、学科紹介Webサイト(<http://civil.archi.tohoku.ac.jp/>)を参照ください。

こちらは参考資料です。2枚目に続きます⇒

[希望内容(続き)]	
参加予定者数	約_____名 内訳(生徒: _____名、教員: _____名、その他 _____名)
講義の対象 ※該当箇所にチェックしてください(複数選択も可)。	<input type="checkbox"/> 中1 <input type="checkbox"/> 中2 <input type="checkbox"/> 中3 <input type="checkbox"/> 高1 <input type="checkbox"/> 高2 <input type="checkbox"/> 高3 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 全学年で希望する学生のみ <input type="checkbox"/> その他(_____)
講義のねらい・目的	※具体的な講義のねらい・目的等があれば、下枠に記入してお知らせください。 <div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>
講義の内容 ※該当箇所にチェックしてください(複数選択も可)。	<input type="checkbox"/> 工学部(建築・社会環境工学科)の概要 <input type="checkbox"/> 学科の授業カリキュラム等の概要 <input type="checkbox"/> 学科の進路選択・就職動向の概要 <input type="checkbox"/> 専門分野に関する研究内容の紹介 <input type="checkbox"/> 専門分野に関する模擬講義・質疑応答 <input type="checkbox"/> その他(※具体的な講義内容・テーマに希望があれば、下枠に記入してください。) <div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>
講義時間の目安	_____分
経費等 ※該当箇所にチェックしてください。	①旅費の支給 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ②講演料の支給 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし  ※経費については原則、依頼者負担です。 (ただし、場合によっては経費の支給がなくても、検討のうえお引き受けする場合がございますので、御相談ください。)
補足事項	※他に出席講義に関する希望の補足事項等があれば、下に記入してお知らせください。

◎希望される時期や高校の所在地等によっては、ご希望に添えかねることもございますのでご了承ください。

◎出席講義をお引き受けする場合は、申し込み希望に添って、調整の上、講師候補者をご紹介します。

時間・講義内容調整等は、講師決定後、直接、講師との間で話し合ってください。

出前講義のお問い合わせ先  
東北大学工学部 建築・社会環境工学科事務室  
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-06  
TEL: 022-795-7486(または7489)  
FAX: 022-795-7895  
E-mail: ningen-k@grp.tohoku.ac.jp